

広島県社会福祉士会 HP へ掲載する復興支援活動内容

2018. 8. 27

・ 広島市災害ボランティアセンター本部活動 (8/16 8時半～17時)

派遣者1名

【中村会員報告】

広島市のボランティアに関する情報が集まっており、当日は電話での様々な問合せへの対応(17件)、広島市内へボランティア希望者の高速道路が無料になる「災害派遣等従事車両証明書」の発行(FAXで対応)をされていました

・ 似島サテライト活動 (8/17 11時～16時)

派遣者1名

【中村会員報告】

広島市南区社会福祉協議会のニード調査。保健師と地域包括スタッフが2組。区社協が1組、似島の町おこし隊の方と当職の2名ずつ4組、8名が地域を分け回りました。調査書に基づき聞き取り、相談事項があれば持ち帰り。留守宅にも各種問合せ連絡先をポスト。訪問の報告をし、調査票を提出。似島に約500戸の届けはあるが、実際は300程度だろうと伺いました。賃貸だったので転居する方、今後の大雨に不安を持つ方、高齢の夫婦は離れた島をまだ見に行けてないと当面の生活に精一杯の様子が伺えました。

・ 楠那サテライト活動 (8/18 8時半～14時)

派遣者1名

【中村会員報告】

ボランティアの受付と送り出し。駐車場の案内。出迎えと報告の聞き取り。ボランティアの参加者は約60名。子ども(小学生)7名の参加もあり、活気あるサテライトでした。

・ 広島市災害ボランティアセンター本部活動 (8/21 8時半～12時)

派遣者1名

【江口理事報告】

メンバー：白井さん(社協) 中村さん(市職員) 山本さん(ANT)

江口(士業連絡会)の4名でした。

活動時間は8:30～17:30の予定で活動に入りましたがお盆明けから電話での問い合わせが減少しているということもあって、本部受付の対応人数も2～3人で十分ということになり同じ日程で、今週と来週にボランティアに入ることになっている

私が午前中を担当し、NPO 法人ANT-Hiroshima の山本さんが午後からを担当するということになりました。

実績は 午前中・・TELでの問い合わせ2件

FAX 1件（車両証明書の発行対応）

午後・・TELでの問い合わせが3件

・ **広島市災害ボランティアセンター本部活動（8/22 8時半～12時）**

派遣者1名

【江口理事報告】

メンバー：白井さん（社協）寺岡さん（市職員）江口（土業連絡会）

実績は 午前中・・TELの問い合わせ、0件

FAX 3件（車両証明書の発行対応）

午後は帰宅したため不明。

※今月中はボランティア本部の規模はこのままで継続し、9月からは対応の件数が減少していることを考慮して、本部の人数調整を検討していくとの話が出ていました。

・ **楠那サテライト活動（8/25 8時半～14時半）**

派遣者1名

【新田会員報告】

42名のボランティアさんが参加されました。

土日の常連メンバーさんがリーダーとなり、待合室で自主的に小グループが組織されました。

小学生兄弟の弁当持参で連日ボランティア参加する姿に、皆が励まされました。

公民館に隣接する保育園の関係者や卒園者（中学生）も、「勝手知ったる」動きでした。地域密着型VCでした。

・ **土業連絡会 避難所相談派遣（8/26 14時～17時）**

三原市本郷生涯学習センター

派遣者1名（社会福祉士1名、県職員2名、三原市職員1名、弁護士1名、司法書士1名、司法書士1名、介護福祉士1名、精神保健福祉士1名、建築士1名の10名チーム）

【開本会員報告】

相談は3件くらいでした。

相談会が始まって30分くらいしても来所者が少ないため、介護福祉士、精神保健福祉士と共に3人で一緒に避難所世帯を訪問し、お話をうかがいました。

避難所は、10世帯ほどが生活されておられるようです。訪問させていただいたときには、ほとんどが留守でした。訪問も1時間弱で終了しました。

お話の中では、直接的な福祉ニーズは出てきませんでした。土砂撤退や、引っ越し業者に依頼してるけど順番待ちであるとか、今後のことについては、仮設住宅に入居してから考えるといったような状況でした。

県職員によると、同様の相談会の開催を坂町、呉市で検討していくとの事でした。

簡単ですが、報告は以上です。

ここからは、私の感想です。

熊野町とは、かなり雰囲気違っていたようです。高齢の方が多く、子どもはいない状況。熊野町は世帯ごとにテントがあったそうですが、ここでは高さのないダンボールでの仕切りでした。顔見知りの方々のようにでしたが、プライベートな空間があるという感じではありませんでした。

災害時には保健、医療はすぐに動きがあるけど、そこに福祉がなく情報がなかなか来ないといった事などを介護福祉士、精神保健福祉士の方と話しました。

また、建築士によると、家の床下の湿気によりカビが発生するなどがあるということでした。様々な団体間の情報交換も貴重だと感じました。

状況が変化していく中、その場面のみでニーズを引き出していくのは難しいですね。そこで生活されている被災された方々に、地域の者でない私が、社会福祉士としてどういった行動ができるのか、どんなことを意識することが必要なのかを考えながら、引き続き活動できたらと思います。みなさんのご助言を、どうぞよろしくお願いいたします。

災害被災者支援委員会のみなさんもご苦労されておられると思います。各地域で支援に携わっておられるかたの疲労も気になるところです。